

教育目標

(1) 本校の教育目標

今年度、創立149年目を迎えた。歴史と伝統を継承し、社会の変化、子供や家庭、地域社会の実態に対応して、校訓「質実剛健」の精神を「かざらず、まじめで、最後までやり抜く、たくましさ」ととらえて、その具現化に努める。

- 目指す子供
- ・自ら学び、進んで学習する子
 - ・思いやりの心を持ち、助け合える子
 - ・明るく、元気で、たくましい子

(2) 経営方針

「夢がいっぱい、笑顔がいっぱい、元気いっぱい」の学校を目指す。子供の優れた特性を大切に、知・徳・体の調和のとれた人間形成を図り、地域に信頼される学校づくりをする。そのために、広幡小の教師は、「三つの基盤・六つの実践」に心がける。

- 三つの基盤 1 受容と関与 2 認め・褒める 3 尊敬と慈愛
 六つの実践 1 子供を教室で迎える 2 教師から先に挨拶をする
 3 子供と共に行動する 4 子供の名前に「さん」をつけて呼ぶ
 5 子供の様子を振り返る 6 教室を整え、子供を迎える準備をする

(3) 本年度の重点努力目標

- 「水はつかめません/水はすくうのです/指をぴったりつけて/そおと大切に…」すべての教職員が慈しみの心で子供を我が子のようにかわいがる。性別によらない名簿を導入することをはじめ、互いの個性や多様性を認め合えるようにする。家庭や地域と連携して子供の成長に努める。
- 新型コロナウイルス感染症の感染防止策と学校教育活動を両立することと、働き方改革に努める。これらの状況をふまえ、学校と家庭や地域との信頼関係を深め、保護者が安心して子供を送り出し、子供は安心して学習や運動をすることができるように努める。
- 自分の思いをもち続け、学習対象と向かい合う子供、協働的な学び合いの中で、新たな価値を見つけ出す子供、学びで得た新たな価値を、次の行動に活かそうとする子供を育てることに努める。
- 教職員自ら研鑽を積み、専門職としての力量を高め、資質の向上に努める。

①「夢がいっぱい」(夢に向かって一生懸命学ぶ子) <知>【豊かな学力を育む】

- ・子供の成長やつまずき、悩みなどの理解に努める。
- ・個々の興味・関心・意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援することや、子供が自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を調整することができるよう促していく。
- ・子供の幸せな未来を守るために、未来の主人公である子供と一緒に、楽しみながら、SDGsを意識した教育活動を行うように努める。

②「笑顔がいっぱい」(豊かな心を育み笑顔で過ごす子) <徳>【豊かな心を育む】

- ・地域や家庭と連携して、明るく元気な挨拶と素直な返事ができる子供を育てるように努める。
- ・歌や読書、学級での人間関係を大切に、温かい心の子供を育てるように努める。
- ・交流・体験活動、ボランティア活動や清掃活動を通して、奉仕の心を醸成するように努める。
- ・心の悩みやいじめ・問題行動の早期発見、早期対応に努め、楽しく安心できる学校生活を全職員で創出するように努める。

③「元気いっぱい」(心身ともに健やかで元気あふれる子) <体>【たくましい体を育む】

- ・健康教育や安全教育の充実に努め、自立的な健康管理意識、危機管理意識を高めるように努める。
- ・力に応じた様々な運動に挑戦させ、達成感を味わわせながら心と体を鍛えるように努める。

④ 家庭・地域との連携を深めるために

- ・連絡帳、電話、メール等での連絡やICTなどの活用により、家庭と学校との共通理解を図るように努める。
- ・コロナ禍においても、対面に加え、オンライン等を活用し、保護者の理解と協力を得ながら教育活動を行うように努める。
- ・コロナ禍においても、教育活動の様子を学校だよりやオンラインも活用し、学区へ積極的に発信し、地域と子供の密な関係づくりを促進するように努める。

(4) 目指す教師像

- ・子供に温かいまなざしを向け、子供を我が子のように大切に作る教師
- ・岡崎の教師としての誇りを持ち、常に謙虚で自己研鑽に努める教師
- ・我が国の伝統と文化を尊重し、国際理解を深め、幅広い教養を身に付けている教師

日課表

時刻	月	火	水	木	金
8:15	月曜集会 広小タイム (読書・学習)	広小タイム(国)	広小タイム (伝え合いふれ合い)	広小タイム(算)	広小タイム (トトロ・学習)
8:30	朝の会				
8:40	1	1	1	1	1
9:25	5分休み				
9:30	2	2	2	2	2
10:15	午前の休み時間				
10:35	3	3	3	3	3
11:20	5分休み				
11:25	4	4	4	4	4
12:10	給食				
12:55	12:55 掃除	12:55 掃除	12:55 掃除	12:55 掃除	12:55 掃除
13:15	13:15 英語タイム	13:15 英語タイム	13:15 英語タイム	13:15 英語タイム	13:15 英語タイム
13:35	13:25 5 14:10	13:25 5 14:10	13:25 5 14:10	13:25 5 14:10	13:25 5 14:10
14:30	14:30 5 14:40	14:30 5 14:40	14:30 5 14:40	14:30 5 14:40	14:30 5 14:40
14:40	14:40 5 14:50	14:40 5 14:50	14:40 5 14:50	14:40 5 14:50	14:40 5 14:50
	15:40	15:40	15:40	15:40	15:40
	15:35~下校10分前	15:35~下校10分前	15:35~下校10分前	15:35~下校10分前	15:35~下校10分前

※キッズディス後 部活動なし 15:40下校



部活動下校時刻(10分前に活動終了)最終下校時刻

入学式~ 6月30日	16:45
7月 1日~1学期終業式(水泳・音楽部のみ実施)	17:00
夏季休業中(水泳部のみ一部実施)	なし
2学期始業式~キッズディス	17:00
キッズディス~10月31日	16:30
11月 1日~2学期終業式(土曜日の活動あり)	なし
1月始業式 ~ 2月15日	16:30
2月16日~修了式	16:30

- 毎週、金土日は宿題なし。(自主勉強は可)
- 日曜・祝日・代休・ゴールデンウィークは部活動なし。
- 帰りの会終了10分後に、下校。
- 月・木は清掃なし。
- 部活動は、火・水・金(土) ただし、水は、キッズディス以降なし。

1 いじめに関する基本的な考え方

教職員がもつべきいじめ問題についての基本認識

- (1) いじめは、どの子供にも、起こり得るものである。
- (2) いじめは人権侵害であり、人として決して許される行為ではない。
- (3) いじめは大人には気づきにくいところで行われることが多く発見しにくい。
- (4) いじめはいじめられる側にも問題があるという見方は間違っている。
- (5) いじめはその行為の様態により暴行、恐喝、強要等の刑罰法規に抵触する。
- (6) いじめは教職員の児童観や指導のあり方が問われる問題である。
- (7) いじめは家庭教育のあり方に大きな関わりをもっている。
- (8) いじめは、学校、家庭、地域社会などすべての関係者がそれぞれ役割を果たし、一体となって取り組むべき問題である。

2 いじめの未然防止

いじめ問題において、「いじめが起こらない学級・学校づくり」等、未然防止に取り組むことがもっとも重要である。そのためには、好ましい人間関係を築き、豊かな心を育てる。

3 早期発見に向けて

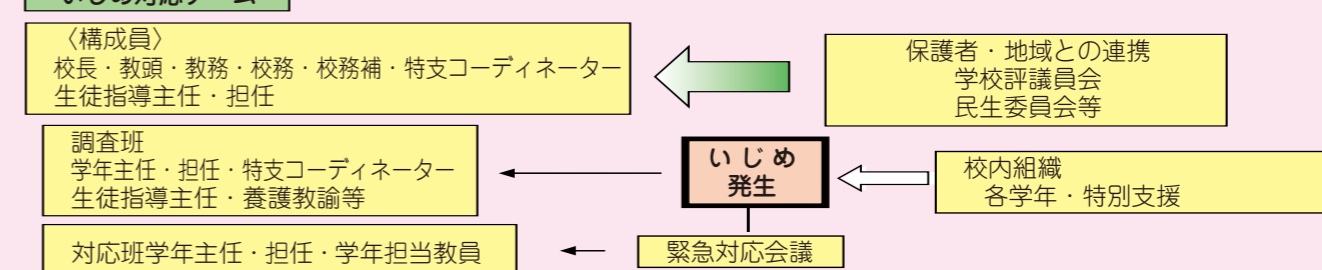
いじめは、早期に発見することが、早期の解決につながる。早期発見のために、日頃から教職員と子供たちとの信頼関係の構築に努める。いじめは、教職員や大人が気づきにくいところで行われ、潜在化しやすいことを認識し、教職員が子供たちの小さな変化を敏感に察知したり、生活アンケートや教育相談をしたりすることにより、いじめを見逃さない認知能力を向上させる。

また、子供たちに関わるすべてのことについて、教職員の間で情報を共有し、保護者や地域の方とも連携して情報を収集する。

4 いじめを発見した場合の早期対応の方法

いじめの兆候を発見したときは、問題を軽視することなく、早期に適切な対応をする。いじめられている子供の苦痛を取り除くことを最優先に迅速な指導を行い、解決に向けて一人で抱え込まず、学年及び学校全体で組織的に対応する。また、いじめの再発を防止するため、日常的に取り組む実践計画を立て、継続的に見守る。

いじめ対応チーム



5 重大事態への対応

(1) 重大事態の発生

- ・児童生徒が自殺を企図した場合・身体に重大な傷害を負った場合
- ・金品等に重大な被害を被った場合・精神性の疾患を発症した場合

(2) 重大事態の報告

学校は、重大事態が発生した場合、公立学校は当該学校を設置する地方公共団体の教育委員会を通じて同地方公共団体の長へ、事態発生について報告する。

(3) 重大事態への対応

教育委員会が調査の主体を判断する。学校が調査主体の場合は、調査組織を設置し、事実関係を調査し、その調査結果を踏まえ、再発防止など必要な措置を行う。